

号外！次は8月！5年ぶりに、この三人会！

第32回 佐世保かっちえて落語会

入船亭扇遊・柳家喬太郎・入船亭扇辰

次回も、テレビで知っている知らないに関わらず、上手くて面白くて、人気・実力ともにトップクラスの、“わかる人にはわかる”師匠方が来てくれます…と書きましたが、私たちの会に毎回のようにご来場いただいているお客様（ありがとうございます！）にとっては、「そがんことはもう、当たり前前のクラッカーたい」ですよ。そうなんです！毎回、落語ファンの間では江戸落語の本格派として、その実力を高く評価されている方ばかりであります。次回も、そんな素晴らしい師匠方が三人揃って、当たり前前のように、この西の端に来てくれるんです。この顔付けは二回目であり、前は5年前でしたが、とても反響が良くて、再演を望む声が数多く届いておりましたが、コロナで中止になったり、それぞれのスケジュール調整が大変だったり（もっとも毎回そうなんです）、次回5年ぶりにようやく実現いたします。

入船亭扇遊：見るからに鱗背（いなせ）な風貌といい、その粋で明るい芸風は、いつの間にか観客を江戸情緒の世界へ引き込む古典落語の名手。口跡（セリフまわし）や所作がきれいであり、古典本来の楽しさを伝える技量と品格ある高座は非常に高く評価されていて、芸術選奨文部科学大臣賞と紫綬褒章を受章している数少ない噺家（東京だけで真打は300人ほどいますが、紫綬褒章を受章して現役で活躍しているのは、わずか6人！）でありまさに落語界の重鎮である。

柳家喬太郎：現代的な新作落語と古典落語の両方で落語ファンを魅了し、その独創的な解釈と大胆な演出は“喬太郎ワールド”と称されていて、熱狂的な人気がある。この会を立ち上げた時の、記念すべき第一回目に出演。その時の衝撃的な面白さはいまも語り草になっていて、「“かっちえて”で初めて喬太郎を見たから聴いたから、落語が好きになった」という人は多い。

入船亭扇辰：若い頃から正攻法の古典の演者として期待され、軽い滑稽噺から情感あふれる人情噺まで持ちネタは幅広く、その柔らかで落ち着いた雰囲気と端正な口調、繊細な演技力は非常に高く評価されている。初出演のあとにメールがあり、お礼の言葉とともに佐世保の落語っ子たちについて・・・「子供さん達の高座も刺激になりました。こちらの気持ちが凜としました」と書いてありました。そういう心根の人なのです。

どうです？ こういう三人の落語を、次回も聴くことができますよ。しかも、扇遊さんは扇辰さんの兄弟子で、扇辰さんと喬太郎さんは入門した時期が同じで、三人それぞれ、とても仲がいいし、そういう雰囲気は高座に出るし、お客様に伝わるし、相乗効果で会場全体がいい空気に包まれるんです。あなたも“落語的いい空気”を感じにいらっしゃいませんか。とここまで読んで・・・「そが言われんでも“かっちえて”の面白さはようわかつとるけん、だいが来ても予約するたい」と思ったあなた。「落語のことも噺家のことも、じえんじえん知らんし、仲よか人に頼まれたけん、今日は嫌々ながら来たばってん、落語のこが面白かて思わんやったばい。次は自分から予約するばい」と思ったあなた。私は、どちらのあなたも、でえすきです。忌まわしくて憎々しかったコロナもインフルなみになってきましたし、次回も！あなたと！会場でお会いできることをべらぼうに願っております。

(文責・海老原靖芳)

2023年8月6日(日) 開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

指定席 大人：2,500円・小中高生：1,000円

※ 次回も指定席のみの販売とさせていただきます。

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時